

(1) アンケートの調査目的

①現状と課題及び計画策定の周知

児童生徒を取り巻く現状(少子化、老朽化、教育環境の変化)と課題を図やグラフ、説明文で示し、それらへの対応が必要であることを意識してもらう。

また、現状とこれからの教育に対応するため、将来に渡り、児童生徒に魅力的で、時代の要求に対応することができる将来ビジョン等の策定に興味を持ってもらう。

②計画策定及び審議会での検討に活用する基礎資料

児童生徒数の減少や施設の老朽化等を受け、

・学校として市民等からどのような役割、機能が求められているのか

・適正規模・適正配置の検討及び対策を進めるにあたり、市民等がどう感じているのかなどを把握し、計画策定及び審議会での検討の際の基礎資料とする。

(2) 調査対象

- 保護者 : 市内小・中学校の児童・生徒の保護者
- 教職員 : 市立小・中学校に勤務する教職員
- 学校運営協議会 : 市内小・中学校の学校運営協議会委員
- 児童 : 市内小学校に通学する小学4年生以上の児童
- 生徒 : 市内中学校に通学する全生徒
- 未就学児の保護者 : 市内幼稚園、保育園に通う未就学児の保護者
- 市民 : 上記以外で、市内在住の18歳以上のかた

(3) 調査期間

令和7年7月7日(月)～8月1日(金)

(4) 調査方法等

	保護者 小・中学校	教職員 小・中学校	学校運営協議会	児童生徒	未就学児の 保護者	市民
調査対象数	約4,000人	約250人	約75人	小: 約1,400人 中: 約1,200人	約1,700人	—
予想回収率	30～40%	60～80%	60～80%	90～95%	15～25%	—
実施方法	QRコード入りチラシを配布、Web上で回答※			児童生徒用タブレットから回答	QRコード入りチラシを配布、Web上で回答※	市HP、広報等により周知し、Web上で回答※
設問数	小: 19問 中: 18問	小: 24問 中: 23問	小: 15問 中: 14問 小中: 21問	小: 5問 中: 5問	19問	8問
想定回答時間	10分程度					

※オンライン回答が難しい場合は、個別に紙調査票で対応

● 調査の概要

(5) 調査項目

項目		保護者	教職員	学校運営協議会	市民	児童	生徒	未就学児保護者
基本情報	現住所、学校名	○	○	○	○	○	○	○
	年齢、学年、居住期間等、 在籍クラス	○			○			○
	職種、勤務年数等		○					
	小規模校及び大規模校での勤務経験の有無		○					
	学校で楽しいこと					○	○	
	どんな授業が楽しいですか					○	○	
	中学校の進学で戸惑ったこと						○	
	こんな学校ならうれしいと思うこと					○	○	
	通っている園							○
	現住所の指定校							○
	市内小・中学校に通う 兄弟・姉妹の状況							○
これからの学校教育で重要だと思うもの		○	○	○	○			○
教育活動	教育活動における小規模校のメリット・デメリット		○					
	小規模校の学校運営上の課題		○					
	教育活動における大規模校のメリット・デメリット		○					
	大規模校の学校運営上の課題		○					
学級数等	子どもの学年の学級数	○						
	指定校の学級数の数について							○
	1学年あたりの望ましい学級数	○	○	○				○
	学級数を選んだ理由	○	○	○				○
	1学級あたりの望ましい人数	○	○	○				○
	人数を選んだ理由	○	○	○				○
通学区時間	子どもの通学時間	○						
	通学手段	○						
	通学時間の許容範囲	○	○	○				○
	学区設定について	○	○	○				○
学校施設	これからの学校施設で重要だと思うもの	○	○	○	○			○
	施設の老朽化によって発生する問題で重要だと考えるもの	○	○	○	○			○
	学校施設の複合化について	○	○	○	○			○
学校と地域の関わり				○	○			
プールについて		○※	○※	○※		○		○
給食について		○	○	○				○
これからの学校の在り方についての意見や要望		○	○	○				○

※中学生の保護者・教職員・学校運営協議会はプールの質問はなし